

平成26年度

第1回 北広島市文化財保護審議委員会

議事録概要

平成26年4月25日

北広島市教育委員会

出席者

審議会

藤井 浩 (文化財保護審議委員)

森下 徹 (文化財保護審議委員)

新發田 修治 (文化財保護審議委員)

丸山 まさみ (文化財保護審議委員)

事務局

八町 史郎 (教育部長)

山崎 克彦 (教育部次長)

小島 晶 (センター長)

笹森 和宏 (主査)

畠 誠 (学芸員)

日時 平成 26 年 4 月 25 日 18 時 30 分～20 時

場所 エコミュージアムセンター知新の駅 ミーティングルーム

(1) 開会

(2) 会長のあいさつ。

(3) 議案 北広島市文化財の指定について (答申)

スタインウェイ&サンズ ヴィクトリーモデルの指定について

——会長から、平成 26 年 4 月 25 日付「諮問事項に対する答申について」のとおり答申があった——

藤井会長：これについて、答申をして良いかどうか、皆さんに諮りたいと思います。質疑あればお願いします。

委員：一つ、細かいことですが、答申の 1 行目の、「地球の長い歴史の」というのは、これは果たして、この委員会の答申としてふさわしいかどうかと思います。北広島市の文化財に関する委員会なので、そこまで範疇は広くないのではないですか。

事務局：事務局でこの文案を作ったときに、文化財の一般論と言う事で、最初の段落を作ったので、そういう大きな話になりました。特に化石ですが、今現在、私たちの市の文化財には化石があります。それを踏まえた中で、文化財の一般論を、ここで最初に述べたので、このような表現になりました。大きすぎるでしょうか？

委員：すでにある文化財をわざわざ示すために、この言葉が使われたということですか。

か。

事務局 : 人類のスパンで。

委員 : たかだか、広島村から北広島市へ130年の中で、地球の長さ、またスケールが、バランスが合わないような(文章的に)感じがしました。本当に小さいことなのですが。

事務局 : 2段落目からは、北広島市にとって、どういうものを選んでいかななくてはならないか、という話を持ってきましたが、もし審議会としてこれでバランスが悪いという事であれば少し修正はしますが、いかがでしょうか。今日までの長い歴史の中で、というふうにしますか。

藤井会長 : こんにちまでの長い歴史。

事務局 : 「こんにちまでの長い歴史の中で」とし、「地球の」という言葉をはずすということによろしいですか。

藤井会長 : 確かに、知新の駅の展示の構想が、最初すごく大きなところから入っています。この文章を読みながら、すごい大きなところから入るなど、展示の構想と関連しているのか、と勝手に判断したのですが、この修正ということによろしいですか。

事務局 : そうしますと、今の修正がありますので、予定ではこの後すぐに会長の方から、今日は委員長が不在のため、部長の八町に答申書を渡していただければ、と思ったのですが、情報提供の事業予定と見学会を先にしていただき、その間に修正したものを作成したいと思います。よろしいですか。

藤井会長 : はい。

事務局 : ありがとうございます。

藤井会長 : それではよろしくお願い致します。

事務局 : それではここから司会進行を会長にお願い致します。

(4) 情報提供について

藤井会長 : それでは、答申については先ほど終わりましたので、情報提供の部分をごらん頂き、①の平成26年度事業報告からお願い致します。

——事務局から資料に沿って、説明が行われた——

藤井会長 : ありがとうございます。これまでの説明で質問等意見はありませんか。

委員 : サグラダファミリアは、どういうつながりできたのですか。良い人選だと思ったものですか。

事務局 : 以前に音楽家、ヴァイオリニストの方と個人的に知り合いになることがあり、その方が今、外尾さんの事務所にお手伝いに行っています。その関係で、直接話が出来るという話を頂き、それで願ったり叶ったりという部分もあり、ぜひ

お願いしたいと伝えました。例年であれば、丁度今頃日本に戻って来られて、各地で講演会をされているのですが、時期的に今の時期だと合わないの、何とか9月くらいにと交渉させていただいたら、承諾いただきました。その後、ここのオープン記念と外尾悦郎さんの講演と、そこをもっと分かりやすく繋いだお話をいただくために、色々と整理して行ったところ、ガウディがサグラダファミリアの建築に携わったのが1883年で、それが丁度130年前です。和田郁次郎と谷川左衛門という広島県人が入る1年前にこの場所に入ったのが1883年。丁度ピッタリ一致しました。サグラダファミリアはその後130年建築を続け、今もまた創り続けています。北広島も、その130年前からまちを造り始め、130年の時を経て、これからもまだ造り続けていく、まちづくりが続いていく、そういった、同じ時代の時間軸を共有しているということから、130年間の歴史と文化とまちづくりについてお話して頂ければという風に考えています。

藤井会長：素晴らしい。

事務局：それと、新發田議員がいらっしゃるから、という訳ではありませんが、サスカトゥーンも入植したのが1883年、130年前です。

事務局：偶然130年前に3つの出来事が始まりました。

委員：彫刻の1つも持ってきてもらえれば。

委員：本当に素晴らしいですね。私も行ってきたが、本当に感動しましたね。光、太陽。一般の方は知らないかもしれないですね、よくテレビなんかで取り上げられています、ちょっと知名度等は。

事務局：そうですね、最近では、こんなところに日本人が活躍している、というバラエティ番組で紹介されるレベルかもしれません。コマーシャルに2本出ています。このオープン記念事業ですが、芸術文化ホールの事業と共催というような形で、タイアップで開催していく形になっています。

藤井会長：いい企画ですね。楽しみにしています。

藤井会長：それでは、②の知新の駅 見学会をお願い致します。

事務局：それでは、館内をご案内します。

館内見学終了

事務局：諮問事項に対する答申の修正を行いましたので、会長再度お願いします。

———会長から、委員に対し、修正した、平成26年4月25日付「諮問事項に対する答申

について」のとおり答申が行われ、了を得た。(別紙)——
——会長から、八町部長に対し、平成 26 年 4 月 25 日付「諮問事項に対する答申について」のとおり答申があった——

八町部長：審議ありがとうございました。

事務局：それでは、閉会の言葉を会長よりお願い致します。

藤井会長：私も、スタインウェイのピアノの情報があれば伝えますし、委員の皆さんにも、
お願いしたいと思います。

また、各部屋を見せてもらいましたが、とても良い施設で期待を持ったところ
です。

それでは本日はこれで終了致します。お疲れ様でした。

(5) 閉会

以上